

相談支援係
072-941-3365

ICT教育推進係
072-943-5785

研究研修・幼児教育係
072-943-5784

教育センター
Web page は
こちらから



幼児教育研修<ミドルステージ研修②>

令和7年12月3日（水）幼児教育研修<ミドルステージ研修②>を午後3時～午後5時に八尾水道センター4階大会議室で行いました。講師は立命館大学 松岡 宏明 教授で、研修テーマは「子供の意欲につながる楽しい造形活動とは」です。

研修使用資料 →

<受講者感想>

- 「やらされる」「正解かどうかわからない」から、どう描いたら作ったらいいかわからぬ。そんな気持ちが苦手意識につながっていくと思った。自分の表現、自分の作品を大切にできる子どもを一人でも多くしたい。
- 自分が描いたり作ったりすることに苦手意識があつたが、「保育者に描く力、作る力は必要ない」と言われて、安心するとともに「見る力」をもっとつけていきたい。
- 2歳児の縦線・横線などは、絵というよりも運動しているという事を知り、面白かった。その際の声かけは「何描いてるの？」より「（いっぱい腕を動かせて）気持ちよかったです」と子どもの気持ちに共感し、寄り添っていくことが大切だと感じた。

what by how

全て決めると画一化しやすい。
全て自由にすると放任になりやすい。

絵画表現の発達段階

0歳～1歳半	造形能力の基礎形成期
1歳～3歳	なぐりがき期
2歳～	命名期
3歳～	前図式期
4歳半～8歳	図式期
7歳～11、12歳	前写実期
11、12歳～14歳	写実期
14歳～17歳	芸術的復活期
17歳～	完成期

幼児教育研修<特別支援教育コーディネーター研修（就学前）③>

<わかったこと>

★保育者のちょっとした『手間』や『意識改革』が、子どもたちの「やってみたい！」「分かった！」「楽しい！」という大きな気持ちにつながる

基礎的環境整備

★活動や遊びとしての『基礎的環境整備』があり、保育のねらいによって、もう少し細かな『基礎的環境整備』を考えることができます

★設定保育の中でも、保育者主導ではなく、子どもの主体性を大切に考えれば、いろいろな『基礎的環境整備』が考えられる

★子どもの気持ちに寄り添った『基礎的環境整備』を整えることができれば、遊びや活動がスムーズになり、困ったり、飛び出したりする子どもも減ることにつながる

★理解しにくい子どもに視点をおき、遊びや活動内容を考えると、おのずと『基礎的環境整備』を整えていることになる

研修使用資料

令和7年12月19日（金）午後3時～午後5時に幼児教育研修<特別支援教育コーディネーター研修（就学前）③>を八尾水道センター4階大会議室で行いました。講師は本センター 白木 貴代 所長補佐で、内容は講義とグループワークでした。研修のテーマは、「①就学前施設における特別支援教育コーディネーターとしての取り組みを振り返って～八尾市がめざすインクルーシブ保育とは～」、「②事

例から、基礎的環境整備を考える～誰もが分かる、やりたくなる遊び・活動にするためには～」です。

＜受講者感想＞

- ・1年を振り返って、コーディネーターとして自園での取り組みを相互に交流し、確認することができた。いいと思われることは積極的に自園でも取り入れていこうと思う。
- ・他の先生の意見を聞くことができ、自分になかった考え・発想に気づくことができた。
- ・何気なく進めてしまっている活動もあるので、八尾市が大切にしているインクルーシブ保育を職員に周知し、一緒に子どもたちのために考えていきたい。

幼児教育アドバイザーによる企画研修

3歳児の事例より

研修使用資料

＜保育者のかかわり＞

- ・一緒に遊びながら、さりげなく、空間を分ける
- ・壊れても、楽しい雰囲気でわくわく転換する
- ・遊びと遊びをつなげる言葉かけ

＜環境構成＞

- ・物の置き場を少し離して構成する
- ・子どもの遊びを予想して、保育室にあるもので、緩やかに仕切る
- ・遊びの見通しを立て、必要になるかもしれないものを準備しておく
- ・机やシートなどにあらかじめ、線路や車線などを敷いておく
- ・遊びイメージしやすいものを準備する

令和7年12月23日(火)午後3時～午後5時に幼児教育アドバイザーによる企画研修を八尾水道センター4階大会議室で行いました。研修テーマは「すぐ実践！小さな工夫で保育は変わる！！」で、内容はグループワークを中心として行いました。講師は八尾市の幼児教育アドバイザーの3人でした。

＜受講者感想＞

- ・子どもたちの世界に入り、保育者も子どもも心からワクワクして楽しめるような保育を考え実践し、反省したうえでフィードバックしていきたい。
- ・自分が苦手正在していることをポジティブに変換してもらえ、心が軽くなった。これからも前向きにチャレンジしていきたい。
- ・計画的環境に、臨機応変さを合わせて、子どもたちがもっと楽しく過ごし、幼児期に必要な資質が育まれるようにしたい。

教育センター「情報公開コーナー」

教育センターB棟（東側）の2階に「情報公開コーナー」があります。各種教育関係図書・雑誌等を配架しています。もちろん「教科書センター」として八尾市で採択している教科書や他社の教科書もあります。研修等で来所された時に直接ご覧いただければ幸いです。教科書・その他書籍・雑誌等も2週間の貸し出しを行っております。今回は12月から1月に配架した雑誌の誌名と目次の一部と書籍の内容を紹介いたします。

「指導と評価」（日本教育評価研究会）1月号

- ・特集1 学びの充実に向けた教育DX
- ・特集2 スクールロイヤーの活用

「こころの科学」（日本評論社）No.245 2026.1Jan

- ・特別企画 児童発達支援を耕す 就学前の神経発達症支援

「道徳教育」（明治図書）1月号

- ・特集 学習指導要領改訂へ！ 超解説 これからの道徳教育キーワード

「特別支援教育研究」（全日本特別支援教育研究連盟編集・東洋館出版社）1月号

- ・特集 ウェルビーイング ~幸せな教育のかたち~

「初等教育資料」（文部科学省編集・東洋館出版社）1月号

- ・特集Ⅰ 学習指導要領実施状況調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実①
- ・特集Ⅱ [生活] 身体を通した心を動かす体験

「中等教育資料」（文部科学省編集・学事出版）1月号

- ・特集 [高等学校]各教科等を交えて語り合う④～学習評価の充実～

教育科学「国語教育」（明治図書）1月号

- ・特集 1号まるごと 国語授業の「見取り」大全

教育科学「社会科教育」（明治図書）1月号

- ・特集 その授業、間違っていませんか？ NG指導から考える授業改善